

2番手高浜 残る課題

12/18 (日) 時刻

規制委、新基準に「適合」

再稼働の2番手とされる関西電力高浜原発が審査の節目を迎えた。原子力規制委員会は、条件付きで基準を満たしたと認め、関電は再稼働にこぎ着けても電気料金を再値上げせざるを得ない事情を抱える。安倍政権は先行する九州電力川内原発をモデルに再稼働に向けた手続きを進める構えだ。

追加審査の可能性も

「1、2号機を使うのであれば、改めて審査を行うことになる」。原子力規制委員会が審査を担当した更田豊志委員は17日、高浜3、4号機の再稼働は条件付きだと釘を刺した。

点は1、2号機内に設ける約40年になる1、2号機の最長60年運転に向けた手続きを12月に始めた。動かすなら、事故時の作業員の配置や動き方などについて3、4号機も追加の審査を受ける必要がある。

だが関電は運転開始から福井県南部には、関電以外も含めて18基の商業炉が集中する。ほかの原発と同様に事故が起きたときの影響も審査されていない。規制委の田中俊一委員長は17日の会見で「安全でないとも安全だとも言うてませせん」と述べ、基準を満たしても事故が起るリスクは残るとの認識を示した。

11年3月 東京電力福島第一原発で事故
12年9月 原子力規制委員会が発足

MOX燃料輸送に反対する人たちが11年6月27日

13年7月 原発の新規制基準施行。関電が高浜、大飯各3、4号機の適合審査を申請
9月 大飯3、4号機が運転停止。国内の稼働原発ゼロに
14年4月 新エネルギー基本計画決まる
5月 福井地裁が大飯3、4号機の運転差し止め判決
9月 規制委、九州電力川内原発を「新基準に適合」と判断
11月 大津地裁が高浜、大飯各3、4号機の再稼働禁止の仮処分申請を却下
12月 高浜1、2号機で40年超運転に向けた特別点検開始

5日 福井県民らが高浜、大飯両原発の再稼働禁止を求め、福井地裁に仮処分申請
14日 衆院選で自公大勝
17日 規制委が高浜3、4号機について新基準の審査書案了承



再稼働の優先度	再稼働の優先度		現状	
	発電能力(万kW)	運転年数(12月時点)		
福井県	1	34	44	廃炉を検討中
	2	50	42	規制委の審査を受ける準備中
	3	83	38	規制委の審査を受ける準備中
大飯原発	1	118	35	規制委の審査を受ける準備中
	2	118	35	規制委の審査を受ける準備中
	3	118	23	再稼働めざし、2013年7月に規制委の審査を申請
	4	118	21	再稼働めざし、2013年7月に規制委の審査を申請
高浜原発	1	83	40	40年超の運転に向け、特別点検
	2	83	39	40年超の運転に向け、特別点検
	3	87	29	規制委が審査書案了承、来春以降に再稼働へ
	4	87	29	規制委が審査書案了承、来春以降に再稼働へ

高浜原発の敷地の高さは標高3・5mで、同13mの川内原発などと比べて特に低い。申請時の津波想定は最大2・6mだったが、6・2mに引き上げ、防潮堤のかさ上げなどの対策を余儀なくされた。

「原発を推進すること、国の原子力政策にも貢献していく」。関電の八木誠社長は17日の記者会見で強調し、高浜3、4号機について「一日も早い再稼働をめざす」と語った。

関電、収支改善を強調

東日本大震災前、関電は11基の原発を動かし、総発電量の約45%をまかなっていた。その分、原発停止を補う火力発電の燃料費がかさみ、2015年3月期も4年連続の赤字決算になる見通しだ。それが、高浜の2基が1年間動いただけで、収支はいまより2千億円改善するの見込み。再稼働を急ぐ理由だ。

だが、関電は高浜の2基だけでは安定経営に必要な黒字が確保できないと判断。この日、来年4月にも電気料金を再値上げする方針を明らかにした。

昨春、企業向けで平均17・26%、家庭向けで平均9・75%の値上げをしたばかりだが、「前回の値上げは原発4基の稼働が前提だった」と説明。規制委で審査中の大飯原発3、4号機の

3、4号機はフルトニウムを含むMOX燃料を使う「フルサーマル」を前提としているのも特徴だ。通常のウラン燃料とは性質が異なるが、規制委は「妥当」と判断した。関電は「再稼働時に実施したいが、地元への理解を得ながら判断する」としている。

川内原発は来年2月にも再稼働に向けた条件が整う状況だ。審査の3番手となる関電大飯原発(福井県)、

九電玄海原発(佐賀県)、四国電力伊方原発(愛媛県)について田中委員長は「議論は煮詰まってる。そう遅くないうちに結論が出るでしょう」と話した。(川田俊男、小堀龍之)

分を効率化ですべて吸収することに限界がある」と語った。

ほかの電力会社も事情は同じだ。来年2月にも川内原発1、2号機(鹿児島県)が再稼働する見込みの九州電力。瓜生道明社長は「玄海原発3、4号機(佐賀県)まで4基が再稼働して収支とんとん」と言う。

川内2基で月200億円、玄海2基でさらに月300億円の収支改善を見込む。さきの衆院選で圧勝した安倍政権も、原発再稼働を後押しする方針だ。

富沢洋一経済産業相は16日の会見で「安全性が確認された炉は再稼働を進めていく。こういう方針を示した上での選挙結果ですから、これまでと同様の方向で政策を進める」と強調した。(西村宏治、平林大輔)

高浜原発

関西電力が福井県内に建設した3カ所の原子力発電所の一つで、4基の原子炉がある。東京電力福島第一

原発とは異なる加圧水型炉(PWR)という種類。3、4号機は1985年に運転を開始。1号機は今年11月で運転開始40年、2号機は15年11月に40年にな

る。関電は最長60年運転するための特別点検を進めている。重大事故時に即時避難が必要な半径5km圏内には、京都府舞鶴市の一部が含まれている。